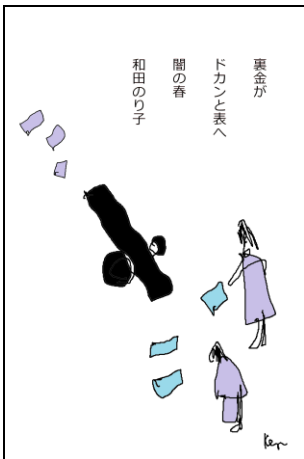




## 春めきて空裏返すファルセット

工藤泰子

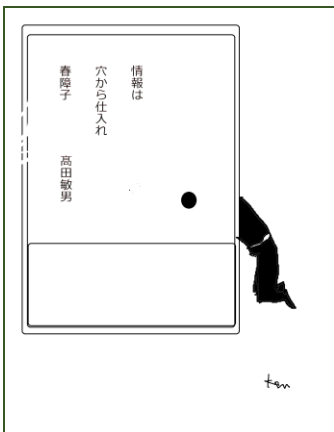
ファルセットは声楽用語で裏声のこと。明るく突き抜ける高い音階だ。声を裏返すことではなく、空を裏返すことを詠んで詩になった。



## 裏金がドカンと表へ闇の春

和田のり子

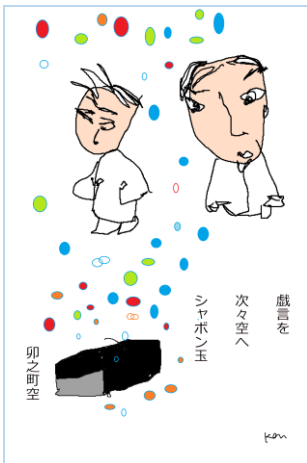
裏と表を巧みに使いこなし、時事句としても意味深い。しかも春の明るさを全否定して「闇の春」としたところに言語感覚の冴がある。



## 情報は穴から仕入れ春障子

高田敏男

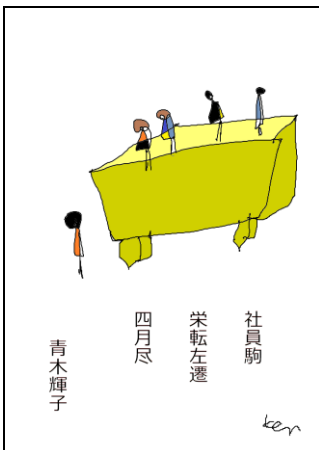
春になれば世間の動きも活発になる。しかし、重要な情報ほど隠されているもの。こっそり傍受するのに障子の穴は最良の方法である。



## 戯言を次々空へシャボン玉

卯之町空

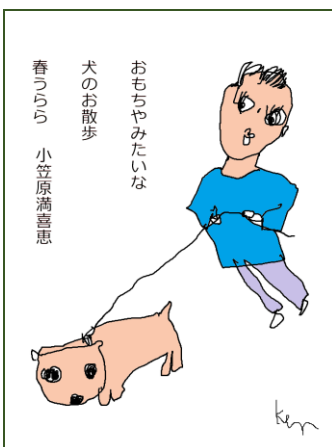
シャボン玉は弾けるもので、実体はほんのつかの間。たわいない会話もその場限りで紙に書いておくほどではない。身軽、気軽の楽しさよ。



## 社員駒栄転左遷四月尽

青木輝子

四月は、人事異動の時期。人も流れ涙も流れる。栄転左遷の悲喜劇も社員は企業の駒として逆らうことのできぬ習い。駒の哀しさに共感。



## おもちゃみたいな犬のお散歩春うらら

小笠原満喜恵

トイプードルのことだろうか。寒い時期の散歩は風邪をひかぬようにと洋服を着せてもらう。春になれば重いコートを脱げて嬉しいね。